

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要							
事業開始年度	平成18年度～						
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	根拠法令・例規等	備前市災害対応型自動販売機設置運用に関する協定書		
	中項目	基本施策	04 安全で安心して暮らせるまちづくり		問	担当課(室)	総務課
	小項目	施策	02 消防・防災		合	職・氏名	消防防災係長 大西武志
	事務事業名	06	災害対応型自動販売機設置事業		先	電話	64-1809
				このシート作成に要した時間	0.5 時間		

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	災害対応型自動販売機を設置している周辺の住民
目的(何のために)	災害時での情報伝達、飲料水の確保を行うため
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	設置業者との協定の締結

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	災害対応型自動販売機設置	災害時において、市内26箇所に設置している災害対応型自動販売機のメッセージボードを利用した迅速な情報伝達や、断水等で水道水が使用できなくなった場合に、災害対応型自動販売機内にある飲料水を無料提供	○

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		48	0	0	
	必要人員人件費	千円	0.01人	100	0.03人	257
	事業費計		148	257	99	
	国県支出金					
受 益 者 負 担						
繰 入 金	千円					
市 債						
そ の 他 ()						
一 般 財 源			148	257	99	
受 益 者 負 担 比 率	%					
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	結果指標量	事業	1	1	0	
	対前年比	%	-	100.0%	0.0%	
	活動コスト	円	148	257	99	
	単位当たりコスト		148	257	#DIV/0!	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
-	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
設置場所の特定はなく、設置可能で、有効な場所に設置するため、特に目標はない。					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> B
	目的達成度市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	現在、新規設置の計画はないが、災害対応型自販機の存在を市民にPRしていく。					

総合評価	
災害対応型自動販売機に搭載しているメッセージボードを利用して、市民に防災情報を伝えることができるため、情報伝達の一つの方法として有効である。また、災害時には無料提供により飲料水の確保ができる。	評価区分 <A~E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	災害対応型自販機の存在を知らない人が居ると思われるので、PRを継続していく。新規設置については、人が多く集まる場所には既に一般の自販機が設置されており、新規の設置場所を探すのは困難であるため、現状を維持していく。					